



2026 BUSINESS REPORT

第43期 期末報告書

2025.4.1 ~ 2026.3.31

アイエーグループ株式会社

証券コード：7509

当社は1984年に創業をいたしました。1996年9月には現スタンダード市場に株式を公開しております。2008年10月1日には純粋持株会社体制への移行に伴い、商号を株式会社アイエーからアイエーグループ株式会社に変更いたしました。

当社グループの創業の「志」は、グッドカンパニーを創ることにあります。当社グループが目指すグッドカンパニーとは、お客様および社会にとって存在価値の高い会社であり、社員にとってやりがいと自分自身の成長が見込める会社であります。社員各人はさまざまな知恵や新たな発想、そしてチャレンジ精神を持って当社グループに参加することにより、まさに「自己拡大の場」「自己実現の場」としていただきたいと考えます。会社のために“人”が在るのではなく、“夢を持った人”のために会社が在る、というように努めてまいります。私達は常に、明るく・元気に・楽しく、を合言葉に「志」の達成に向け、全社一丸となって努力をしております。

企業理念

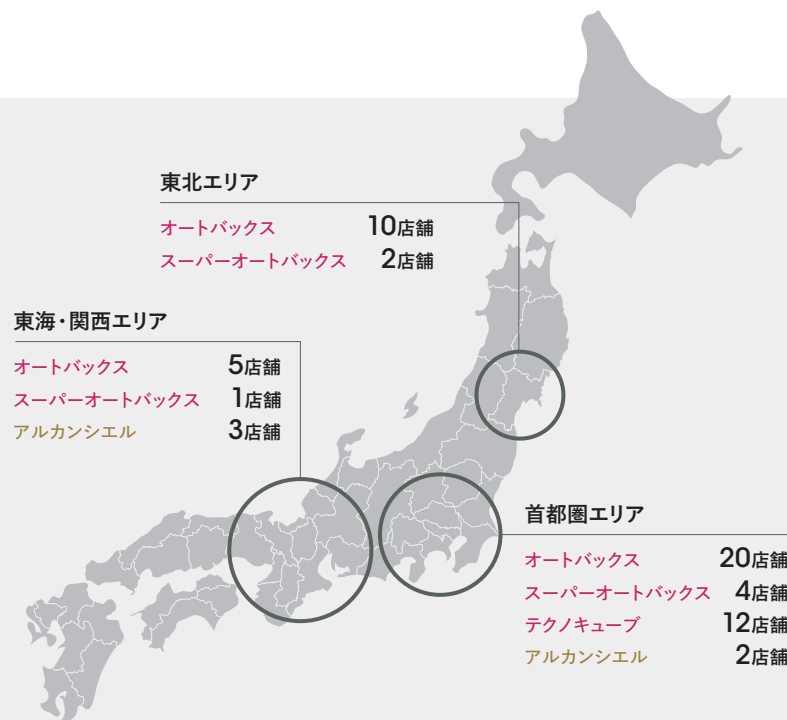
- 1 社員の成長と発展を願い、仕事環境の創出を致します。
- 2 社会との関わりを大切にし、豊かな社会作りに貢献致します。
- 3 時流変化を正しく認識し、絶えざる革新を行う企業経営に邁進致します。

事業展開

※2026年3月31日現在

首都圏・東北・東海・関西 合計 **59** 店舗
グループ全社

オートボックス 35店舗
スーパーオートボックス 7店舗
テクノキューブ 12店舗
アルカンシエル 5店舗



カー用品事業

日本最大のカー用品総合専門店チェーン「オートボックス」「スーパーオートボックス」および車検専門店「テクノキューブ(以下TC)」のフランチャイジー店舗を展開

株式会社アイエー
神奈川・東京・岐阜 42店舗 (TC12店舗含)

株式会社アイエーオートボックス
宮城 12店舗

株式会社アイエーマネージメントサービス
提携企業の店舗指導・支援およびコンサルティング事業

ブライダル事業

ハウスウェディングスタイルの結婚式場の運営、各店舗における一般顧客向けレストラン運営の展開

株式会社アルカンシエル
南青山・新横浜・名古屋・新大阪・金沢 5店舗

建設不動産事業

不動産開発・管理・仲介・販売の「不動産事業」と、電気自動車用充電システム、太陽光発電設備の販売施工を含む電気・建設工事の「建設・エネルギー事業」を展開

株式会社アイディーエム
不動産事業

株式会社アイエーエナジー
建設・エネルギー事業



代表取締役社長

古川 隆太郎

第43期(2025年4月1日から2026年3月31日まで)の期末報告書をお届けするにあたり、日頃の皆様の温かいご支援に対し心からお礼申し上げます。

当連結会計年度の我が国経済は、雇用・所得環境が改善傾向にあり、景気は緩やかな持ち直しが見られました。一方で、急激な物価上昇は落ち着きつつあるものの、食料品等の物価高や、不安定な国際情勢、諸外国の金融政策に伴う為替変動等による消費マインドの動向を注視する必要があります。国内経済の先行きは不透明な状況が続いております。

そのようななか、当社グループでは基幹事業であるカー

用品事業は増収減益、ブライダル事業および建設不動産事業は増収増益となりました。

なお、セグメント別の状況は以下の通りとなります。売上高はセグメント情報等の外部顧客への売上高を基準としております。

(カー用品事業)

一部のタイヤメーカーによる値上げが2025年6月に実施され、値上げ前の営業活動による需要取り込みに注力した結果、タイヤ販売および付随するタイヤ交換工賃が好調に推移しました。また、強化部門である車両販売は、中古車取引相場の影響を受けにくい小売販売に注力し前年を上回る推移をしました。その結果、売上高は前年同期と比べ増収となりました。利益面は、中古車相場価格の変動および未稼働商品在庫処分による粗利益の減少と、従業員の待遇向上による費用と売上高に伴う支払ロイヤリティの増加により、前年同期と比べ減益となりました。なお、2025年7月1日付で秋田県において営業するオートボックス店舗4店舗を事業譲渡しました。

(ブライダル事業)

2024年4月以降の施設見学者数が、主に名古屋・大阪において当初の見込みより減少をしたため、当連結会計期間の

婚礼組数は前年同期を下回りました。しかしながら、1組当たりの施行単価と、平日の施設稼働を向上させるため法人向け宴会等の受注に努めたことにより、前年同期と比べ増収増益となりました。

(建設不動産事業)

不動産事業において保有する不動産物件の戦略的な売却を実施するとともに、収益性を重視した優良賃貸物件の賃貸稼働率の向上に努めたことと、建設・エネルギー事業において受注している大型工事案件が竣工したことにより、前年同期と比べ増収増益となりました。

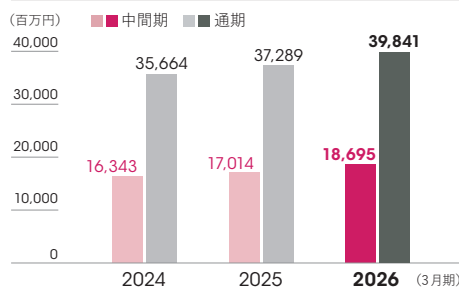
(その他の事業)

売上高は、内訳は保有する不動産の賃貸売上となるので、前年同期とほぼ同等の実績となりました。利益面は、不動産の取得に関する租税公課が発生したため、前年同期と比べ減益となりました。

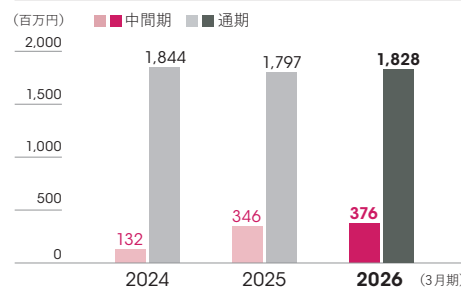
(総括)

以上の結果、当連結会計年度の売上高は39,841百万円(前年同期比6.8%増)となり創業以来の最高売上高となりました。営業利益は1,828百万円(同1.7%増)、経常利益は1,903百万円(同0.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,383百万円(同10.3%増)となりました。

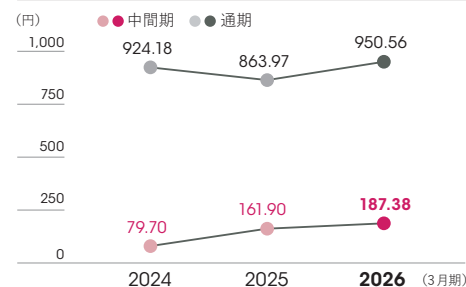
売上高



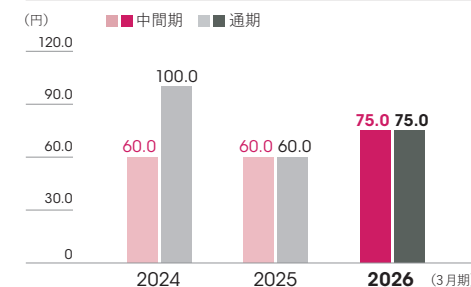
営業利益



1株当たり当期純利益



配当額



(注) 1株当たり当期純利益は、自己株式数を控除した期中平均発行済株式総数により算出しております。

2021-2025

2021年3月期～2025年3月期振り返り

事業別振り返り

カー用品事業	<ul style="list-style-type: none"> ●自動車の販売・買取事業(以下、カーズ事業)の拡大が売上を大きくけん引 ●戦略商品であるタイヤ、オイル等の伸長による利益増 ●コスト上昇に伴う商品・サービス価格の見直しも売上を押し上げ
ブライダル事業	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナの影響を大きく受けたがその後は回復基調 ●列席者数および婚礼単価の上昇による利益改善 ●バンケットの稼働率向上に向けて法人向け一般宴会やアニバーサリーレストランを行い売上拡大に貢献
建設不動産事業	<ul style="list-style-type: none"> ●21年3月期～22年3月期は保有不動産物件の戦略的売却を実施 ●23年3月期に不動産事業組織再編を行い、効率的な運営ができる体制を構築 ●23年3月期以降は計画的な収益不動産物件の仕入・販売に注力

業績の推移 (百万円)

	2021 3月期	2022 3月期	2023 3月期	2024 3月期	2025 3月期	
カー用品事業	売上高	26,848	28,045	29,736	29,576	31,951
	セグメント利益	1,001	1,001	977	1,157	1,354
	利益率	3.7%	3.6%	3.3%	3.9%	4.2%
ブライダル事業	売上高	2,720	3,636	3,984	4,235	4,241
	セグメント利益	▲2,400	▲462	215	312	238
	利益率	—	—	5.4%	7.4%	5.6%
建設不動産事業	売上高	2,783	3,863	1,463	1,566	1,084
	セグメント利益	732	723	87	248	34
	利益率	26.3%	18.7%	6.0%	15.9%	3.2%
グループ計	売上高	32,624	35,831	35,507	35,664	37,289
	営業利益	▲652	1,339	1,378	1,844	1,797
	利益率	—	3.7%	3.9%	5.2%	4.8%

直近の歩み

- 2021 3/19 ●「オートバックス・利府店」新規オープン
- 6/25 ●「オートバックス秋田店」新規オープン
- 7/31 ●「アルカンシエルベリテ大阪」閉館
- (株)IDMに、(株)IAGアセットを吸収合併
- 12/31 ●「オートバックス仁井田店」譲渡
- 2022 3/27 ●「アルカンシエルガーデン名古屋」閉館
- 12/1 ●(株)IDMに、子会社4社を吸収合併
- 2023.3月期 ●式場活用のため法人向け一般宴会の営業開始
- 2024 1/31 ●コメダ事業譲渡
- 3/21 ●(株)アイエーナジーを設立
- 2025.3月期 ●売上・営業利益共に過去最高を更新(カー用品事業)



2026-2028

2030年に向けて

2030

グループが目指す姿と数値目標

アイエーグループは
「グッドカンパニー」を目指します

売上高	営業利益	ROE
460 億円	20 億円	8% 以上

目標実現に向けた取り組み方針

グループ経営マスタープラン

～2030年に向けて～ 進化と挑戦

理念の承継と共有

- 企業理念の創業世代からの承継とグループ内共有

時流にあった人材の育成と発掘

- 事業ごとの最適な人材採用・育成とさらなる人材活用の推進
- 「最高の目標を設定できるリーダー(経営者)」層の育成

グループ事業の進化

- 各事業別の中期計画を策定し推進
- 事業ごとの強みを活かし、関連する周辺事業領域を拡大

経営基盤の強化

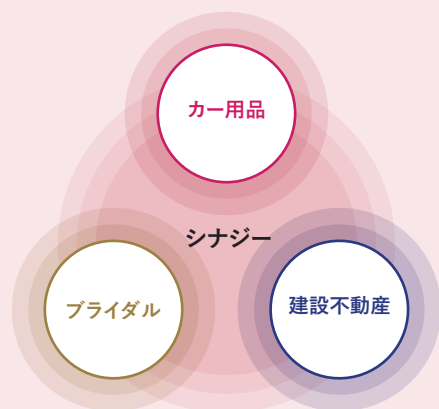
- コーポレートガバナンス・リスクマネジメントの強化
- デジタル化推進による業務効率化



実現に向けた計画の全体像

基本戦略

地域に根差した店舗運営を維持継続し、
その安定的な収益基盤をもとに
既存事業とのシナジーが見込める
「周辺事業領域の拡大」を図る



数値計画

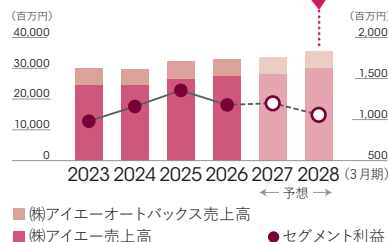
(百万円)	2026 3月期 計画	2026 3月期 実績	2027 3月期 計画	2028 3月期 計画
売上高	39,500	39,841	40,400	43,700
売上総利益	18,800	17,939	19,400	20,000
売上総利益率	47.5%	45.0%	48.0%	45.7%
営業利益	1,610	1,828	1,840	1,810
営業利益率	4.1%	4.6%	4.6%	4.1%

※ 数値計画は2025年5月公表の中期経営計画に基づくものです。なお、2027年3月期の数値については、直近の業績を踏まえ更新しています。

3か年の事業戦略

カー用品

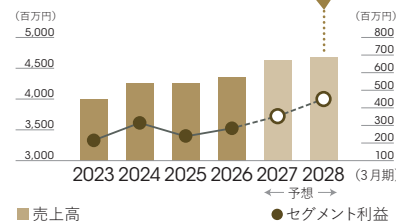
2028年3月期目標



- カー用品は、戦略商品の位置づけであるタイヤ等の継続的な拡販と、安定した客数と収益の確保に向けた社会変化対応や各種効率化を推進。
- カーズ事業は26年3月期で売上69億円を突破。さらなる事業成長に向けて、環境整備として人材力・組織力を高め、カー用品販売・整備・保険等の付帯販売を強化する。
- 27年3月期・28年3月期にかけて既存エリアのドミナント戦略を軸とした出店を計画に含めているため、準備含めて一部費用増。人材力・組織力強化を踏まえて、29年3月期以降のさらなる事業成長の礎とする。

ブライダル

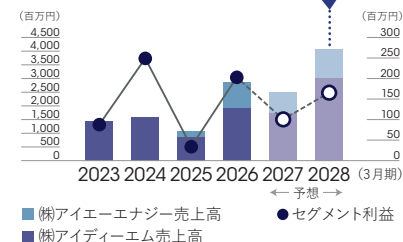
2028年3月期目標



- 当社の出店エリアである大都市圏を中心に競争は激化していると認識。適切な広告投下や新たなマーケティング手法の開発、継続的な人材育成を進めることで、さらなる質の向上を目指し、「感謝を伝える場」としての結婚式を訴求していく。
- 婚礼以外には、法人・個人向けの宴会やイベント利用の受注にも注力することで、施設並びにバンケットごとの稼働率向上に努める。
- 26年3月期は一部商品単価の見直し等の営業施策により1組当たり単価が向上、法人向け宴会等も伸長した。27年3月期・28年3月期は商品力強化と各種経費コントロールにより利益率改善に努める。

建設不動産

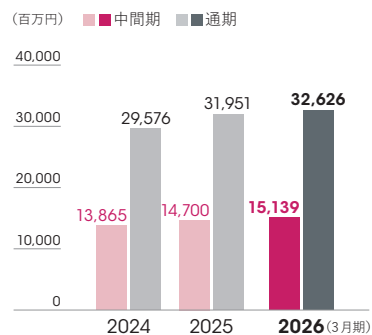
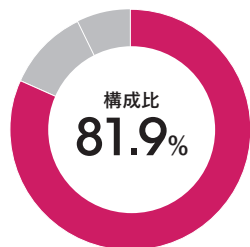
2028年3月期目標



- ㈱アイディーエムは、直近3年間は仕入が進み、26年3月期は3棟売却・2棟購入を実施。引き続き大都市圏の一棟収益マンション並びに区分所有物件の仕入れを進め、保有期間中に付加価値を高め、売却に結びつける。
- ㈱アイエーエナジーは、26年3月期は大型建築案件の施工による大幅な売上・利益増となる。引き続き、各企業とのアライアンスを強化し、太陽光発電設備・電気自動車用充電システム等を含む建設・電気工事受注により売上増を目指す。

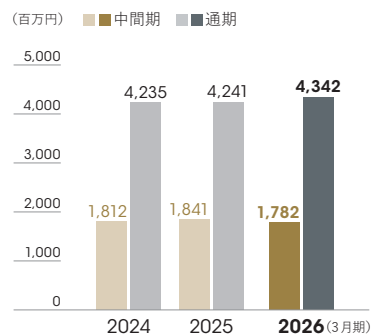
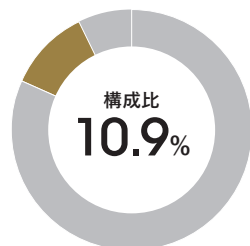
カー用品事業

売上高
32,626百万円



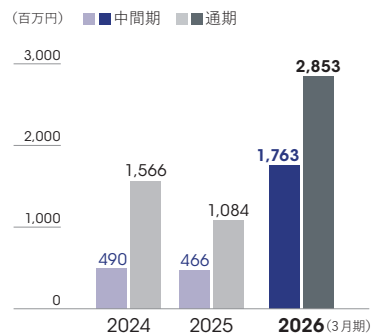
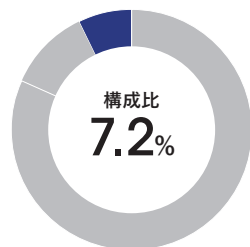
ブライダル事業

売上高
4,342百万円



建設不動産事業

売上高
2,853百万円



カー用品事業



Topics 1

店舗設備への継続的な投資の実施

基幹店舗であるスーパーオートバックスかわさきにおいて、外観の美化を目的とした大規模改修工事を実施しました。他店舗においてもLED照明の更新や改修を適宜実施するほか、労務環境改善のためにビット空調機を新設するなどの設備投資を行っています。

Topics 2

自動車買取・販売事業の成長

オートバックス40店舗において、中古自動車の買取・販売事業を展開しています。付帯品の販売・取付や整備も含めてワンストップで対応できる利便性が支持されており、出張買取も行っています。年々業績を拡大し、昨年度の車両販売額は69.5億円となりました。



ブライダル事業



Topics 1

口コミランキングにて 全式場が高評価を獲得

口コミサイト「みんなのウェディング」の満足度ランキングにおいて、当社の全式場が高い評価を受けています。なかでも「アルカンシエル南青山」は東京都全体の料理・スタッフ満足度で1位を受賞し、他式場も料理・立地等の部門で1位を受賞しました。

Topics 2

lux mariage 大阪の 披露宴会場改装を実施

4つある披露宴会場のうち、バリテイストの会場を開放的で非日常的な雰囲気はそのままに「モダン×ナチュラル」なデザインにリニューアルしました。2026年1月より稼働しており、お客様の好みに幅広くお応えできるようになりました。



建設不動産事業



Topics — 不動産売買・賃貸管理

収益不動産物件の取得

神奈川県横浜市において、JR横浜線十日市場駅から徒歩圏という利便性の高いエリアに、安定した賃料収入が見込める物件である「メイフェア」を取得しました。また、通期において収益不動産物件を3棟売却・2棟購入し、定期的な物件の入れ替えを行っています。

Topics — 建設・エネルギー

アジア・スマートシティ会議 2025に出展

横浜市が主催する、環境にやさしい循環型社会の実現を目的とした「アジア・スマートシティ会議2025」に出展しました。出展ブースでは、法人向けに展開しているフレキシブルモジュール太陽光パネルおよびスマートEV充電器PULSAR PLUSをPRしました。



会社概要

会社概要

(2026年3月31日現在)

商号	アイエグループ株式会社
設立	1984年3月21日
資本金	13億1,410万円
商号変更	2008年10月1日
代表者	代表取締役社長 古川 隆太郎
本社	神奈川県横浜市戸塚区品濃町545番地5
事業内容	グループ全体の経営方針を策定し明示するとともに、各種の専門サービスをもってグループ各社の事業運営を支援すること。
ホームページ	https://www.ia-group.co.jp/
社員数	1,027名
株式上場取引所	東京証券取引所 (スタンダード市場 証券コード7509)
取引銀行	横浜銀行 東戸塚駅前支店 三井住友銀行 横浜駅前支店 三菱UFJ銀行 戸塚駅前支店 みずほ銀行 横浜駅前支店 三菱UFJ信託銀行 本店 大垣共立銀行 岐阜支店

役員

(2026年3月31日現在)

代表取締役社長	古川 隆太郎
取締役会長	古川 教行
専務取締役	小野 敦
常務取締役	岡野 良信
取締役	足立 浩二
取締役	藤井 敏光
取締役	佐野 尚見
取締役	小森 忠明
取締役	川村 倫大
常勤監査役	細矢 公司
監査役	齊藤 浩司
監査役	林 諒

(注)1. 取締役佐野尚見氏、取締役小森忠明氏および取締役川村倫大氏は、社外取締役であります。
2. 監査役齊藤浩司氏および監査役林諒氏は、社外監査役であります。
3. 監査役齊藤浩司氏は、公認会計士の資格を有しております。監査役林諒氏は、税理士の資格を有しております。
4. 当社は、取締役佐野尚見氏、取締役小森忠明氏および取締役川村倫大氏、ならびに監査役齊藤浩司氏および監査役林諒氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

株式の状況 (2026年3月31日現在)

発行可能株式総数 **5,348,800株**
発行済株式の総数 **1,645,360株**
株主数 **836名**

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	比率(%)
有限会社草創	580,400	39.81
株式会社SNホールディングス	57,000	3.91
内藤 征吾	48,700	3.34
古川 教行	48,580	3.33
古川 恵子	48,360	3.32
小黒 良太郎	46,800	3.21
岡 秀朋	38,100	2.61
株式会社オートボックスセブン	36,000	2.47
上田八木短資株式会社	31,200	2.14
小黒 美樹子	30,600	2.10

(注) 持株比率は自己株式(187,254株)を控除して計算しております。

関係会社

(2026年3月31日現在)

- 株式会社アイエー <https://www.i-a.co.jp/>
- 株式会社アイエーオートボックス
日本最大のカー用品総合専門店チェーン「オートボックス」「スーパーオートボックス」および車検専門店「テクノキューブ」のフランチャイジー店舗の経営
- 株式会社アイエーマネジメントサービス
提携企業の店舗指導・支援およびコンサルティング事業

- 株式会社アルカンシエル <https://www.arcenciel-g.jp/>
ハウスウェディングスタイルの結婚式場の経営
- 株式会社アイディーエム <https://www.idm-net.jp/>
不動産開発・管理・仲介・販売
- 株式会社アイエーエナジー <https://www.ia-e.co.jp/>
電気自動車(EV)用充電設備、太陽光パネルの設置提案・施工業務、建設業務

株式に関するお問い合わせ先

(2026年3月31日現在)

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話:0120-232-711(通話料無料)
郵送先:〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

株主メモや注意事項などの詳細

